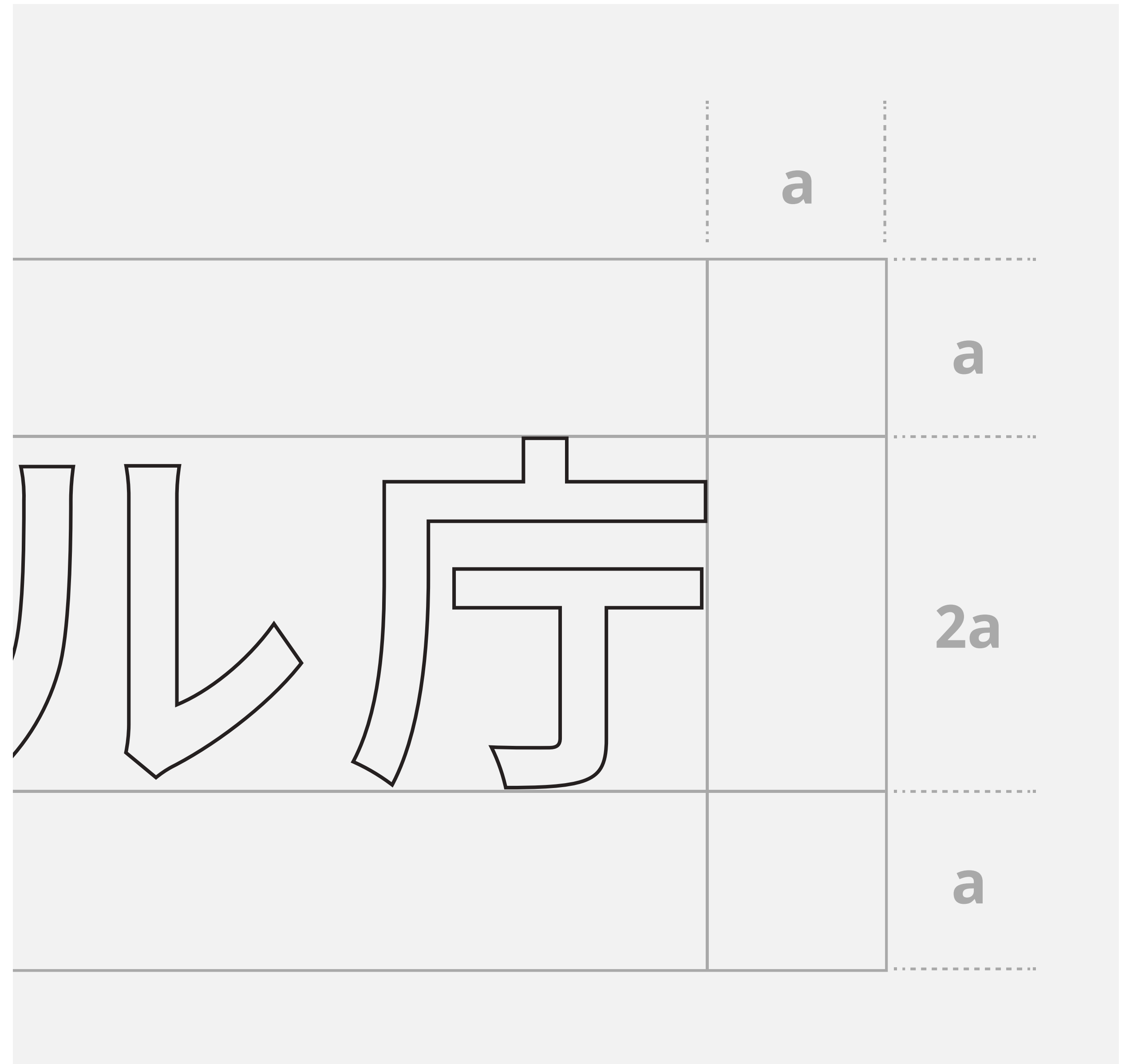


デジタル庁

Visual Identity Guideline

2021/09/06 Updated



はじめに

この資料は、デジタル庁のビジュアル・アイデンティティ・ガイドラインです。
2021年9月1日の創設を前に策定された、デジタル庁を視覚的に象徴するロゴやカラーなどの要素について
その背景や使用方法を掲載しています。

デジタル庁のロゴやカラーは、
ミッションやビジョンにも表現される「スタートアップ」「スピーディー」「デジタル」あるいは「有機的な連携」といったキーワードを軸に、
その策定プロセスも含めデジタル庁の姿勢を表現しました。

使用の際には、必ず本資料およびロゴ使用規定をご確認ください。

なお本資料の最新版や、ブランド関連の最新情報は下記に掲載しています。
必ず最新情報を取得してください。

デジタル庁Webサイト ブランドページ
www.digital.go.jp/about/brand

Logo

□□

ブランドロゴ 日本語

デジタル庁のロゴは、オープンソース書体である「Noto Sans」を基本に、字間や太さなどをロゴとして扱いやすいよう調整したものです。

図形（シンボルマーク）は用意せず文字列（ロゴタイプ）のみとしました。この背景には、デジタル庁が目指すスタートアップのようにスピーディに進む過程をプロジェクトとして体現し、ロゴに反映する意図があります。

ロゴタイプの基本となる書体（フォント）には、インターネット環境があれば、どなたでも無償で利用できる「オープンソース書体」を選択。また数あるオープンソース書体のなかから、環境によって表示できない文字をなくす挑戦から生まれた「Noto Sans」を採用しました。

デジタル庁

ブランドロゴ 英語

デジタル庁のロゴは、オープンソース書体である「Noto Sans」を基本に、字間や太さなどをロゴとして扱いやすいよう調整したものです。

図形（シンボルマーク）は用意せず文字列（ロゴタイプ）のみとしました。この背景には、デジタル庁が目指すスタートアップのようにスピーディに進む過程をプロジェクトとして体現し、ロゴに反映する意図があります。

ロゴタイプの基本となる書体（フォント）には、インターネット環境があれば、どなたでも無償で利用できる「オープンソース書体」を選択。また数あるオープンソース書体のなかから、環境によって表示できない文字をなくす挑戦から生まれた「Noto Sans」を採用しました。

Digital Agency

組み合わせ

基本的には各媒体での使用言語に合わせて日英バージョンの利用を区別します。

ただし同時に使用する必要のあるケースでは、定められた比率でロゴを配置することができます。

デジタル庁
Digital Agency

セーフエリア

ロゴの表示にあたり、ロゴがしっかりと見えるように、文字や図形など他の要素をできるだけ離します。
少なくともセーフエリアには、他の要素を入れてはいけません。



セーフエリア

ロゴの表示にあたり、ロゴがしっかりと見えるように、文字や図形など他の要素をできるだけ離します。

少なくともセーフエリアには、他の要素を入れてはいけません。

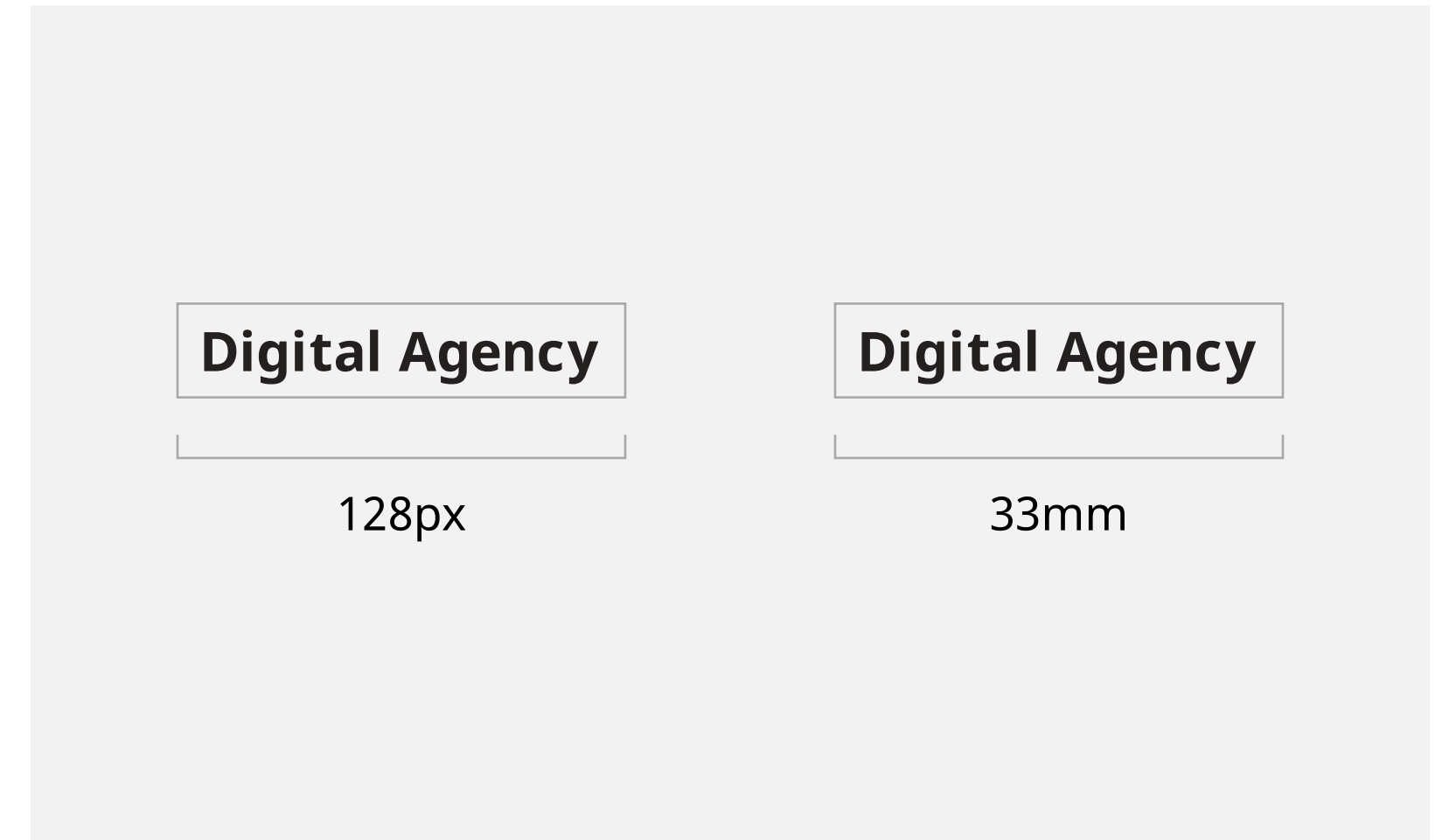
	a		a
a			a
2a		デジタル庁	2a
0.6a			0.6a
1.2a		Digital Agency	1.2a
a			a

最小サイズ

ロゴの可読性を損なうサイズでの利用はできません。ディスプレイに表示する際、印刷に使用する際は、それぞれ最小サイズを守ります。最小サイズには、セーフエリアが含まれます。



日本語ロゴの最小サイズは、ディスプレイ表示で94px、印刷物で24mmです。



英語ロゴの最小サイズは、ディスプレイ表示で128px、印刷物で33mmです。



日英組み合わせの最小サイズは、ディスプレイ表示で105px、印刷物で33mmです。

ロゴの基本色

デジタル庁のロゴの基本色は、白い背景に黒いロゴを載せたものです。黒には Digital Primary Black を使用します。

デジタル庁

Digital Primary Black

RGB 37 32 32
HEX 252020
CMYK 6 10 6 93

White

RGB 255 255 255
HEX FFFFFFFF
CMYK 0 0 0 0

ロゴの応用色

例外的に、白いロゴとDigital Primary Blackを背景色とした組み合わせで使用することができますが、重い印象を与えないために全体としては少量となるよう配慮します。

デジタル庁

White

RGB	255 255 255
HEX	FFFFFF
CMYK	0 0 0 0

Digital Primary Black

RGB	37 32 32
HEX	252020
CMYK	6 10 6 93

グレースケールでの使用

白と黒の中間色であるグレーの濃淡（グレースケール）のみで表現される媒体で利用する場合があります。

この際は、Digital Primary Blackの代わりに、ロゴもしくは背景に

Digital Primary Black for Grayscaleを使用します。



デジタル庁



デジタル庁

Digital Primary Black for Grayscale

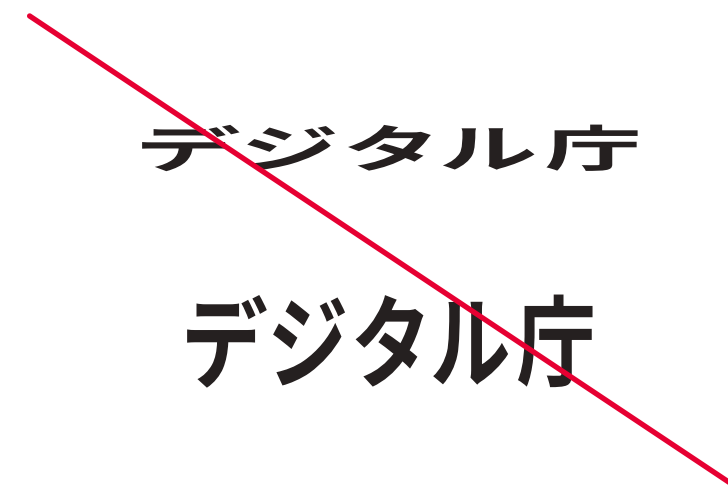
RGB	39 39 39
HEX	272727
CMYK	0 0 0 85

禁止事項

ロゴは、デジタル庁の「顔」となるものです。各制作物の表現に関わらず、いつでも安定して正しく表すようにします。本ページに例として挙げるような正しくコミュニケーションできない表現は避けます。



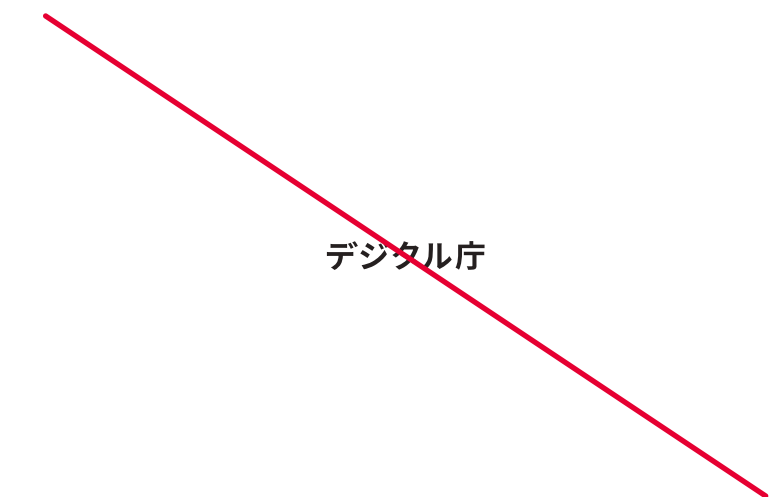
セーフエリアにオブジェクトを配置しない



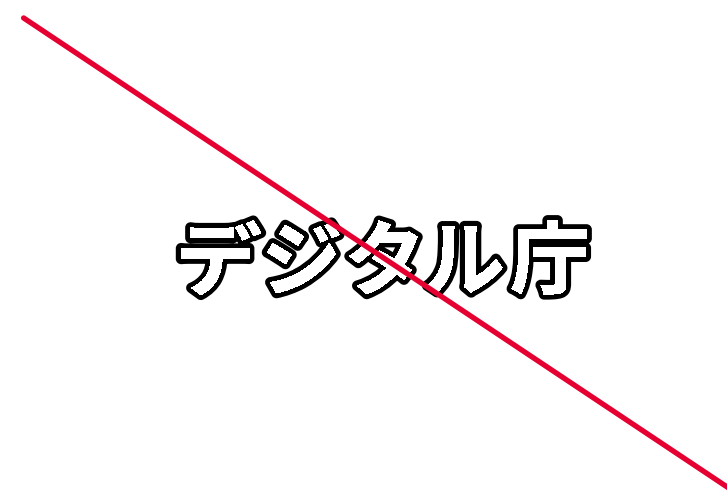
変形しない



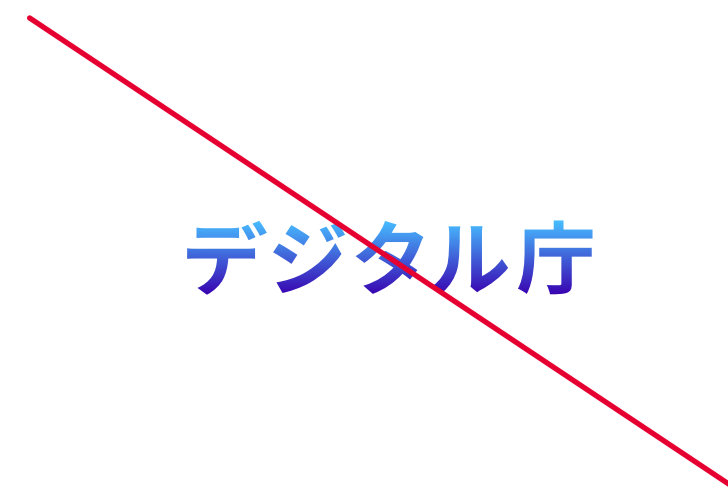
日英を指定の比率以外で組み合わせない



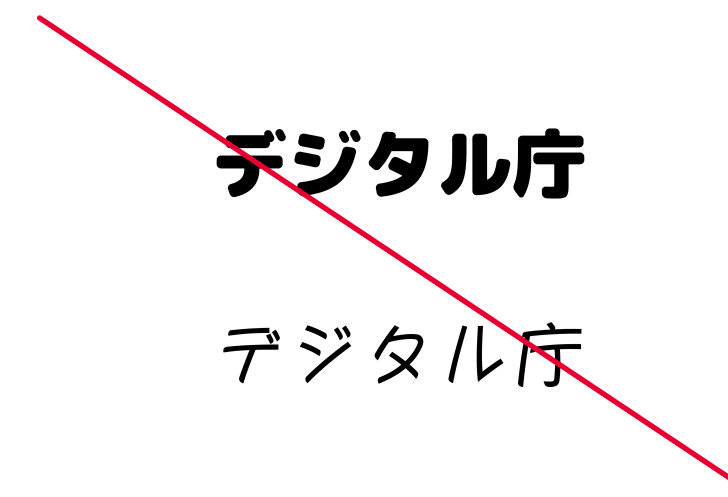
指定サイズより小さくしない



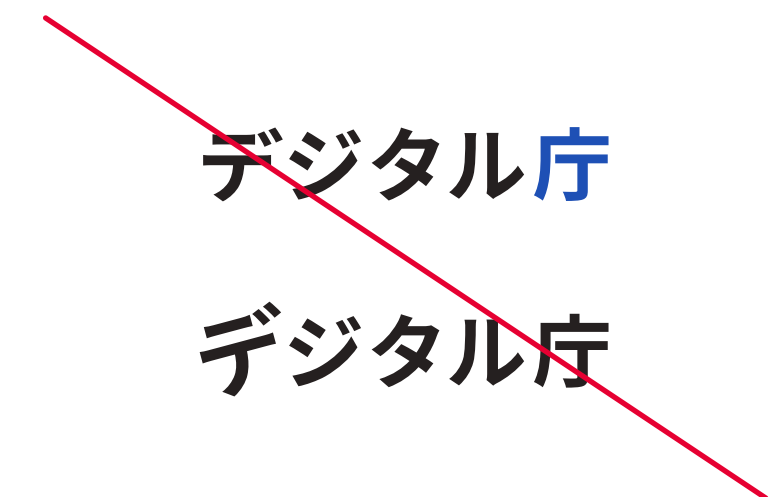
縁取りしない



色を変更して使用しない



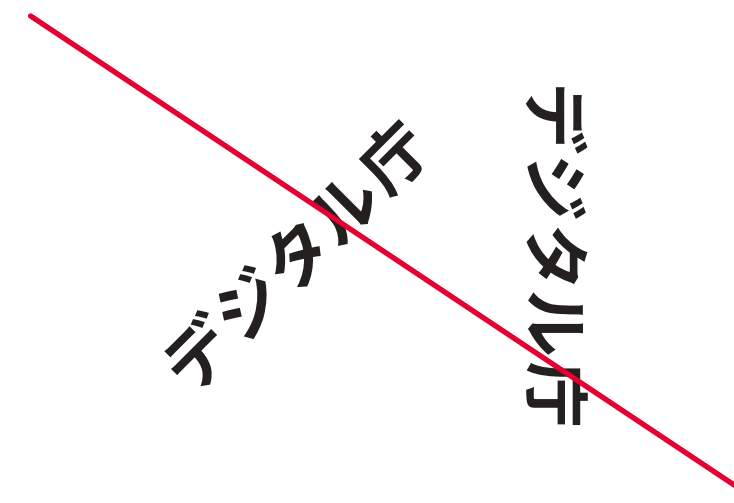
別の書体で制作しない



ロゴの一部を改変しない

禁止事項

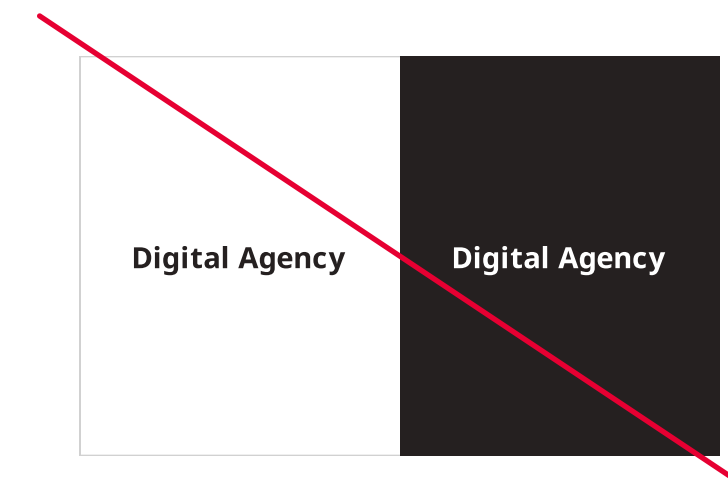
ロゴは、デジタル庁の「顔」となるものです。各制作物の表現に関わらず、いつでも安定して正しく表すようにします。本ページに例として挙げるような正しくコミュニケーションできない表現は避けます。



回転させない



コントラスト比の足りない背景を使用しない



白と黒を交互に配置しない。喪を想像させる表現は避けます



陰影をつけない



キャラクターなどのオブジェクトと組み合わせない



キャラクターなどのオブジェクトと重ねない

視認性の確保 グレースケール

ロゴは「ロゴの基本色」のとおり、白背景での利用を基本としています。

ただし印刷や媒体による制限により白背景を利用できない場合、もしくはデジタル庁が提供するサービスのブランドカラーを尊重する場合には、例外として適切な背景色を使用します。

その際、視認性を十分に配慮してロゴの色を決めます。



デジタル庁



デジタル庁

黒いロゴを使用する際、
以下もしくはそれより明るいグレーを使用します

RGB	209 209 209
HEX	D1D1D1
CMYK	0 0 0 18

白いロゴを使用する際、
以下もしくはそれより暗いグレーを使用します

RGB	71 71 71
HEX	474747
CMYK	0 0 0 72

視認性の確保 カラー

ロゴは「ロゴの基本色」のとおり、白背景での利用を基本としています。

ただし印刷や媒体による制限により白背景を利用できない場合、もしくはデジタル庁が提供するサービスのブランドカラーを尊重する場合には、例外として適切な背景色を使用します。
その際、視認性を十分に配慮してロゴの色を決めます。

デジタル庁

~~デジタル庁~~

~~デジタル庁~~

~~デジタル庁~~

~~デジタル庁~~

デジタル庁

写真の上での使用

基本的にロゴは、無地の指定された色の背景のうえに配します。
ただし例外として、写真のうえにロゴを配置することができます。
その場合は視認性を十分に確保し、必ずロゴの色とコントラスト比が十分に保たれる領域の上とします。

Don't



色調や色相の差が多い写真のうえに配置する



Do



写真のうえにフィルターを重ねるなどして、ロゴの視認性が充分確保されるようにする



視認性が充分確保される、色調や色相の差が少ないエリアに配置する

— Color Palette

色

プライマリーカラー

デジタル庁のブランドに関わる制作物に使用されるカラーです。

プライマリーカラーは、デジタル庁を代表する色です。

多様性のあるデジタル社会を目指し、横断的に関わりながら共に創る姿勢を体現し、シンプルな色使いとしています。

White

RGB 255 255 255

HEX FFFFFFFF

CMYK 0 0 0 0

Digital Primary Black

RGB 37 32 32

HEX 252020

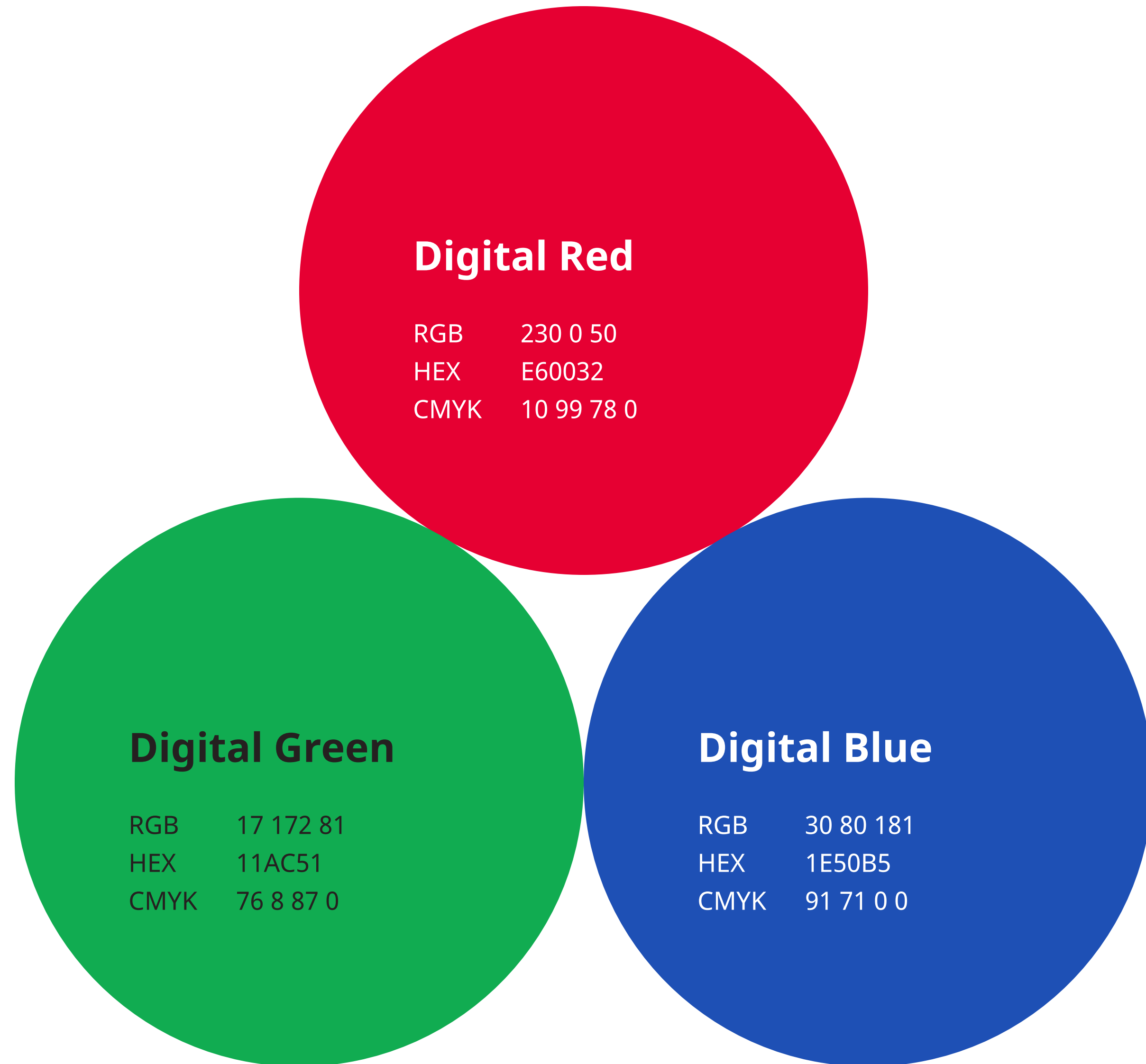
CMYK 6 10 6 93

アクセントカラー

アクセントカラーは、視認性を考慮したあらゆる色から選択することができます。ここには、誰もがデジタルの恩恵を受けられるように、との想いをこめました。

デジタル庁のスタートとしては、全ての色の基本であるRGBから日本の伝統色を取り入れて調整したものを使用します。媒体の特性を考慮して調整してください。

アクセントカラーは、今後組織のフェーズに応じて色数が増えることを想定しています。



色の割合

配色の際は、白が最も広い面積を占め、続いて黒、最後にアクセントカラーが最大10%程度で加わるように割合を設定します。

アクセントカラーのなかでの優先順位や使用頻度は、媒体ごとのアクセシビリティ、目に優しい色合いなどを考慮して決定します。

なおグラフィックパターンとしての利用を除き、アクセントカラーとして複数色を同時に表現することは避けてください。

White

Black

Accent

— Typography

タイポグラフィ

推奨書体

印刷物の制作時には、ロゴのベースとなる書体と同じく、Noto Sans JP / Noto Sans の使用を推奨します。

ただし特にディスプレイ表示の場合には表示速度やOSごとのガイドラインへの考慮を優先し、適切な書体を選択してください。

Noto Sans JP Bold

あいうえおかきくけこサシスセソタチツテトナニヌネノ
北海道青森岩手宮城秋田山形福島茨城栃木群馬埼玉

Noto Sans Bold

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789!@#\$%^&*()_+

Noto Sans JP Medium

あいうえおかきくけこサシスセソタチツテトナニヌネノ
北海道青森岩手宮城秋田山形福島茨城栃木群馬埼玉

Noto Sans Medium

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789!@#\$%^&*()_+

Noto Sans JP Regular

あいうえおかきくけこサシスセソタチツテトナニヌネノ
北海道青森岩手宮城秋田山形福島茨城栃木群馬埼玉

Noto Sans Regular

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789!@#\$%^&*()_+

